



▲傘をさして、一步、また一步前へ。

雨 土佐よさこいツーデーウォーク
にも負けず、風にも負けず、ウォーキング!

7月3日(日)、第18回土佐よさこいツーデーウォークが開催されました。全国各地から参加者が大集合!雨にも負けず、風にも負けず、香南市内を歩きました。アスレチックやキャンプが楽しめる月見山、赤岡町の有名な赤れんが商家といった自然や歴史を感じながら、前へ前へ。最後は荒れ狂う波を横目に堤防を進み、ゴールを目指します。そして、いよいよゴール地点のヤ・シーパークに到着!完歩した参加者からは達成感があふれ出ていました。

生 健康推進員協議会総会
生活習慣病は食事でコツコツ予防

6月24日(金)、健康推進員協議会総会が開かれ、その中で大塚製薬株式会社による研修会が行われました。市は昨年2月に大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結。今回は地域の健康づくりの支援として「生活習慣病について」をテーマに研修が行われました。生活習慣の乱れはドミノ倒しのように大小さまざまな病気を引き起こします。日本人に特に不足しがちなのは野菜・大豆製品だそう。暑い季節をバランスの良い食事で乗り切りましょう!



▲健康にはとにかく食事が大事。バランスよく食べましょう。

ふ ぶらっと座談会【上夜須・十ノ木地区自治会】
ぶらっと座談会を開催しました!

6月25日(土)、夜須町の上夜須・十ノ木地区自治会主催のぶらっと座談会を開催しました。当日は23名の住民の参加があり、市長と人口減少や災害への備え、子育て世代への支援など暮らしに身近な課題などを話し合いました。

地域主催のぶらっと座談会は、今年度は令和5年1月31日までの開催で開催団体を募集中ですので、検討される際は地域支援課・各支所までお問い合わせください。

座談会でいただいたご意見を抜粋してご紹介します。



▲地域による地域のための座談会。思いを市長へ。

交 交通安全子供自転車高知県大会
交通安全を競技に!楽しく学んで安全に。

6月25日(土)、佐古小学校体育館で交通安全子供自転車高知県大会が行われました。この大会は小学生に自転車の安全な乗り方に関する知識と技能を身に付けてもらうとともに、交通安全の意識を高め交通事故を防止することを目的として行われています。

競技は実際に自転車を運転する安全走行テスト・技能走行テストと、学科テストで採点を行います。佐古小学校が団体の部で優勝、個人の部でも佐古小学校6年生の3名が入賞しました。



▲佐古小学校は連続優勝!

夜須町の人口は減り続けている。公共設備などが野市に集中すると他の地域がさびれてしまう。人を増やすことも案だが、減らさない視点での施策をお願いしたい。また町に学校がなくなるのではないかと心配している。子育て世代が住める場所や土地の不足に取り組んでほしい。

たちの命を守る、町の輝きを守ることはどちらも大切なことです。さまざまな施設や設備の配置を考え、市営住宅・空き家の活用や家を建てるための補助金など、さまざまな世代が住みやすい環境を整えていきたいと思っています。

香南市は県の中で人口が最も減っていないが、市内の中では各所から野市に移る方が多くおり、学校も生徒数に偏りがあります。

市の道路の草刈りができておらず環境整備ができていない。市道の整備をきちんとしてもらいたい。

どうすれば町から出ていかず、住み続けられるかということを考えていかなければならないと思います。そのためにも日頃から職員と情報共有を図り、皆さまのニーズを把握しながら一人一人、人に寄り添えるような施策を進めていきたいと考えています。

草刈りができていない場所は確認後、適切な対応をしていきたいと思えます。全路線ではないが、市では年に1~2回の草刈りを行っています。夏は草の伸びが早く、除草剤で対応することもあります。

また、夜須町では来年度から保育園・幼稚園の高台移転を予定しています。津波浸水区域において子ども

通行時に危険な場所は草に限らず、道の穴や道路側が崩れそうなど、建設課や支所にご連絡をいただければ対応しますので、よろしくお願ひします。

地産地消のいろいろな取り組みを聞きますが、香南市の取り組みはどうなっていますか?

また、夜須町のスイッチがテレビで取り上げられ、やすらぎ市を通して注文がすごく増えた。こういったことが増えるようなPRの仕方をもっと考えてほしい。

地産地消に関しては、学校給食で香南市産のお米を使っています。去年は市産のシイラやじゃこも使いましたし、できる限り地元の食材を使っていきたいと考えています。

PRに関しては、一番影響力があるテレビにいかに取り上げてもらうかというのが大事かと思えます。フェイスブックやインスタグラム等のSNSの活用も有効なので、工夫をしつつ効果的なアピールの仕方を研究したいと思っています。香南ケーブルテレビさんを含め、メディアと協力していくことも考えています。

ツ 小学生のピーマン収穫体験
ヤツヤのピーマンを笑顔で収穫♪

6月28日(火)、赤岡小学校と吉川小学校の子どもたちがピーマンの収穫体験をしました。子どもたちへの食育と農業の楽しさを体験してもらうことを目的に、市内の農家さんのハウスで毎年行われています。今年は初めて実践型研修ハウス(新規就農される方やその指導をする方に市が貸し出しているハウス)で実施。

子どもたちはビニールハウスの熱気に「暑い、暑い」と言いながらも持参した袋いっぱい、笑顔でピーマンを収穫していました。収穫したピーマンは翌日子どもたちの給食へと変身。自分でとったピーマンだからこそ、いつもより嬉しく感じる給食となりました。



▲緑のも赤いのもいっぱいだったよ!



▲漁業者と連携することで、素早い救助が可能!

迅 香南市消防署・水難救済会合同水難救助訓練
速な救助は連携から

7月1日(金)、夜須町旧海水浴場において、香南市消防署と水難救済会が合同で水難救助訓練を行いました。

訓練では「遊泳者が流された」との想定でドローンによる上空からの捜索や陸地から目視による監視を行い要救助者の位置を特定。その後、水難救済会に連絡し、同会が所有する漁船に隊員が同乗し救助活動を実施しました。また、救助要領の手順や連絡方法等の確認を行いました。

これからの季節、水難事故にならないよう十分気を付けてください。